

第3回南あわじ市総合計画審議会 議事要旨

日 時：令和8年6月29日（月）14時30分～16時40分

場 所：南あわじ市役所第2別館2階第5会議室

議 題

1 開会・あいさつ

2 報告

①市民WS・高校生WSの意見

②人口ビジョン（案）

3 協議

基本構想（案）

4 その他

第2次総合計画進捗評価

今後について

2 報告

①市民 WS・高校生 WS の意見

事務局より以下の資料を用いて説明

①市民 WS・高校生 WS の意見

事務局より以下の資料を用いて説明

委員より感想

②人口ビジョン（案）

事務局より以下の資料を用いて説明

委員より意見なし

3 協議

基本構想（案）

事務局より以下の資料を用いて説明

委 員

質問として「喜び」というのはどのような喜びなのか具体的に教えてほしい。「喜び」と聞いたときのイメージは皆さん違うと思う。行政として、どのような「喜び」だと考えているのかを示してもらう必要があると思っている。

事務局

地域の方が子育てをしている世代を応援することでその「喜び」を市民に感じてもらえるようなまちにしていきたいというのが事務局としての思いとなる。アンケート調査等での意見でも子どもが減っているとかそういった意見が多いため、そういった意見を踏まえて、市民皆で応援してあげることで、市民全体が「喜び」を感じて、また子育てをまちでしてくれると考えている。

会 長

例えば近所で子どもたちが遊んでいる姿や子どもたちの声が聞こえて、それを第三者がみて微笑ましいと思え、それを支援してあげられるようなまちづくりを目指したい、そういった思いでこのフレーズを選んだということだと思う。

委 員

未来に向けてというようなことが子育ての方に関わっているのだと思い、私なりにも受け止めていた。そういった方向性についてベクトルを事務局と委員で合わせていかないと副題を付ける際の主題との一貫性がなくなってしまうと思う。幅が広く、主題とぶれてしまう可能性もある。方向性が皆さん違うと思う。その点がある程度多くの人が共感できるようなものにしていかないといけないと思う。理念だけ多く書いているが、具体的なものを示してもらわないと判断が難しい。

会 長

主題と副題と基本政策で構成されていると思うが、主題については説明が必要なため、副題で説明を行い、具体的なキーワードが入っていく。「子育ての喜びが見えるまち」は絞り

すぎていて、子育てにしか力を入れないのかと思われるが、それだけではないということが説明されているため、その点が副題で入ってくる感じとなる。

委員

基本政策にも地元産業という言葉が出てきていると思う。仕事をして「飯を食っていく」必要がある以上、こういった産業が生活の糧になり、生活のベースとなることが当然あるはず。したがって基本政策にも地元産業という言葉が出てきていると思うが、例えば生活の基盤安定をこうやっていきますというようなことが必要になってくる部分だと思う。

委員

障害福祉計画のほうでも人材不足という話は出ていた。人がますます減っていく中で、福祉をどう維持していくかという話が出ていた。ワークショップの意見などを見ると、現時点で市民や高校生が不安に思っていることが、結果として出てきていると思った。そういった不安を解決できる計画にしていかなければならないと思う。人口が減るということは不安を感じている部分であるが、人口減少というのは様々な施策が展開された結果だと思う。産業や交通や医療・福祉といった様々なことがあって結果としてこの地域に住んでいきたい、出て行きたいで人口が増減していると思う。そういったことから、この「子育ての喜びが見えるまち」というキャッチフレーズを深めていった方が良いと思った。

他の委員からあったように、産業政策、どうやって暮らしていくかという視点は絶対に必要だと思う。人口ビジョンの資料もみたが、南あわじ市の就業者が多いのは農業や製造業で他地域と比べても農業などが強いということが分かったが、そういった市の基幹産業でしっかり稼いでいけるというのは大事な視点なのではないか、それをスローガンとして出してもいいのではないかと考えた。

私としては50年後に夢のある未来を描きにくいと思っていて、逆に今の南あわじ市の魅力で50年後に何を残したいのかという視点で考えた方が良いと思う。そうすると、私であれば農業を中心とした昔ながらの暮らしが残っていたり、そういったものに根付いた祭であったりといった文化が他地域では失われていく中で、南あわじ市で残れば、他市との差別化になるのではないかと考えた。

会長

あまりに具体的なことは主題には入れないが、そのような状態を目指すという所を踏まえて思いを込めるようなことをしていけばいいと思った。その上でまちの強みや良さといったことをしっかりと副題に入れることが必要だと思う。

基本政策については、他市と大きく変わらなくなると思う。総合計画とはそういったもの。主題や副題は住んでいる方や、住んでいない方が来ようと思うようなものを入れていくと良いと思う。

委員

夫と相談したが、現状「子育ての喜び」は全く見えていないと思った。ただ10年かけて「子育ての喜びが見えるまち」にしようということであればいいと思う。

資料を事前に目を通して読み込むと結論として「子育ての喜び」に達したのだなと分かるが、市民の人がぱっと見て、そう思うかというとなかなか難しいだろうなと思った。

事務局

この将来像に関しては子育てだけではなくて、若者を含めた全ての世代が子育て世代を応

援することで喜びを感じてもらおうという意味で考えている。

委員

私は南あわじ市の子育ては進んでいると思う。私が実際に小学生支援やファミリーサポート等にいかせてもらっているが、意外と子どもの遊び場はあると思う。アフタースクールや学童など、淡路市等と比べるものでもないと思うが、南あわじ市ではアフタースクールが充実しており、ほとんどの地域で行われている。この前の講演では、「南あわじ市は学ぶ楽しさ日本一」と話していてそのとおりだなと思っている。給食についても小学校は無料、医療費も小中高で無料となっている。確かに明石市には勝てないが、南あわじ市は進んでいる方だと思う。

委員

20 年前に公民館館長をしていた際、若いお母さんが幼稚園に上がるまでに遊ぶところがない、ママ友ができないという相談を受けた。小学校に入学して初めて顔を合わすという課題があり、4 か月以降であれば母親同士で子どもを連れて集まろうという会をはじめた。初めは多くの人に来てくれたが、先月行った際は3 組しか来なかった。しかし、こういったお母さん同士の交流というのは私たちいずみ会の高齢者同士のようにお互いに教えることもできるため、広げていった方が良いのではないかと考えている。

また、いずみ会のような団体が地域に入り込んでいるため、そういったところと連携していくことを考えた方が良いと思う。

会長

子育てに関わっている方の話を聞いていると、子育てというのは子どもを育てるだけではなく、子どもを通して地域とのつながりを作っていくということがあるのかなと思った。

委員

県のビジョン委員会でワークショップに参加したことがあるが、そのときも学生は交通の不便さを挙げていた。今観光協会では、車を持たない観光客を公共交通で入れるという取組を行おうとしている。

人口を増やすことにもつながると思うが、公共交通を観光客が利用しやすいようにすること、住民のメリットという話もできていたと思うが、この間スペインで視察に行った際は「〇〇カード」というものがあり、南あわじ市でも住民は 75 円、観光客は 125 円にするなどして、足がない観光客は便利に観光ができ、住民は安くバスに乗れる、そういった制度をしていけば若者が求めている公共交通の充実は実現可能だと思う。

観光協会でも働き手の 90% 以上は島外から来ている。島に働きには来てくれるが、いざここで子育てするかというと離れてしまう。住みたいと思わない人のデメリットは公共交通の高さがあると思う。

事務局

この将来像は 10 年後の南あわじ市がこういった状態になっているのが良いのかを一言で表した言葉として、事務局の方で検討した後、提出している。そのときに委員の意見であるとおり、わかりづらい、今議論になっているように子育てだけに見えてしまう。

子育ての喜びが見えるというのは、例えば産業であれば、担い手不足となった際に、委員から今発言があったとおり、島外から来て定住せずに帰ってしまう。それがもし「子育ての喜びが見えるまち」になればそういった人たちも定住する。地場産業もそうだが、もし子育

てしたいと思える若者たちがいれば、そういった方が担い手につながっていく。そうやって地域課題を解決していこうというもので、若い人たちが自分たちの経済状況を含めて子どもを持っていないのではないかと不安を持っていることは認識しているため、そのような方たちが心配なく子どもを産めるようになるのは市全体の福祉にもつながっていくことだと考えている。

そういったことを充実させていった先の10年後に「子育ての喜びが見えるまち」というようなことが言えると良いのではないかと考えている。

そういったことを踏まえて、この言葉だけが出ると印象として「子育て世代」のみに見えてしまうため、上記のことをしっかりと説明できるような具体的なものを設けようということで副題を設定することとした。

現在浸透しなかったなと思っているところではあるが、将来像というのは、「10年後」どのような状態であるのかを考えたものとなる。

事務局

具体的な政策の部分に関しては、「まちづくりの設計図」という部分で公共交通等の具体的な部分は展開していく流れとなっている。そこで市民や学生の意見から市としての方針を示していきたいと考えている。

会 長

基本構想ではなく、その中の一番細かい部分で記載するということだが、委員のこれまでの意見の中で、公共政策は様々なところに影響があるという意見があったと思う。そのため、このような枝分かれした表形式ではなく、「将来像に向けた基本政策」の図のように5つの柱が重なってできるものという表現が良いのではないかなと思う。

会 長

主題はいったん固定した上で、意図を十分に説明できるような副題にするための言葉をこれから決めていきたい。

～副題についての議論～

会 長

時間になったため、本日出た意見を踏まえて、2つ程度副題案を事務局で検討いただき、次回会議の冒頭で再度検討し確定させることとする。

4 その他

第2次総合計画進捗評価

事務局が資料を用いて説明

今後について

事務局が資料を用いて説明